

第6回離島対策等検討会 議事録

1. 日時 : 平成17年9月6日(火)10時20分～11時50分
2. 場所 : 日本自動車会館11階
(財)自動車リサイクル促進センター第2会議室
3. 委員の現在数 : 3名
4. 出席者 : 藤井座長、大杉委員、堀委員
以上3名全員出席
その他 (財)自動車リサイクル促進センター事務局、
環境省・経済産業省担当官
5. 議題 : イ)平成17年度離島対策等支援事業資金出えん計画(案)
ロ)今後の離島対策等支援事業の審議・承認について

6. 議事概要

1) 議題イ)について

資料3「平成17年度離島対策等支援事業資金出えん計画(案)」を事務局より説明し、本案について、今後資金管理業務諮問委員会に報告・承認を得た後、自動車リサイクル促進センターの理事会に報告し、承認を得る旨提案し、了承された。

【主な質疑・意見】

(注) は委員からの質問・意見 は事務局からの説明

(1) 運用状況の確認について

平成18年度までに、離島全体の車両保有台数に対する比率でみて99%以上の市町村の事業参加が確認できたことについては、大いに評価できる。今後、事業開始後においても、継続的かつ円滑に運用されているか、しっかりフォローしていく必要があると考える。

事業開始後の運用状況確認の必要性についてはご指摘の通り、現地確認の実施方法等について十分検討したうえで、しっかりフォローしていきたい。

(2) 事業の効率化の働きかけについて

鹿児島・沖縄では、大規模離島内の市町村が連携して、事業を集約化することにより輸送効率を上げたとの報告が事務局よりあったが、今後他の市町村に対しても事業の集約化等の効率化を働きかける必要があると考える。

事業の効率化の働きかけが必要なことはご指摘の通り、今後はこうした好事例を対象自治体に積極的に紹介しながら、更なる効率化の取り組みを推奨していきたい。

(3) 情報公開について

本事業は離島における廃棄物処理を推進するうえで画期的な事業であり、また、ユーザーから預かっている貴重な資金を使用することから、本支援事業の開始について積極的に情報公開すべき。

本事業の開始については、事務局としてもプレス対応を行う等、主務官庁とも連携しつつ、積極的に情報公開していく。

(4) 変更等の対応について

本事業については、申請内容の軽微な変更や、最近の原油価格の上昇などによる海上運搬費の値上げ等が発生する可能性がある。これらによる変更が出てきた場合には弾力的に対応すべき。

離島市町村にとって初めての事業であり、要請書提出後に変更が出てくることは想定されるため、ご指摘の点には十分留意して、弾力的に対応していく。

2) 議題口)について

資料4「今後の離島対策等支援事業の審議・承認について」を事務局より説明し、平成18年度からは“出えん方針”“出えん計画”をあわせ“出えん計画”として12月上・中旬に審議・承認する旨提案し、了承された。

【主な質疑・意見】

(1) 審議・承認方法について

12月中に要請市町村に対し出えん可否について連絡できる仕組みにすることは、市町村も運営しやすくなるので、評価できる。

(2) 出えん計画の修正について

12月に“出えん計画”を決定したら絶対修正しないということではなく、必要に応じて弾力的に対応すべき。また、修正に対しその都度検討会を開催するとなると非効率になりかねないので、検討会開催に代わる効率的に対応できる体制を検討する必要がある。大きな変更や重要な事項であればいつでも臨時に検討会を開く、しかし軽微な機械的変更であれば座長の判断で行い、委員には結果の連絡ということでもいいのではないかと。

計画の変更については弾力的に対応したい。また、検討会に代わる体制については、今後必要都度、座長とも十分相談のうえ、各委員にも了解いただき、柔軟に対応していきたい。

以上